

## 01 東亜日報 2020. 3. 16

## 【 東京オリンピックの延期波紋... 悲喜こもごも韓国体育 】



IOC の 2020 東京オリンピック延期決定で、各競技連盟などは歓迎の立場を示したが、ひたすらオリンピックだけ見つめて 4 年間汗を流してきた選手たちは虚しい限りだ。

鎮川選手村

東亜日報 DB

「まさか」が現実になった。2020 東京オリンピックが新型コロナウイルス感染症（コロナ 19）の世界的な普及で電撃延期された。国際オリンピック委員会（IOC）トーマス・バッハ委員長と日本の安倍晋三首相は 24 日（韓国時間）大会を 1 年ほど延期することに合意した。最悪のシナリオである大会の全面中止でなく、来年の夏までにオリンピックを終えることにした。

各種目競技連盟、国家オリンピック委員会（NOC）は歓迎の意を表しているが、すべての構成員の心が同じではない。元気な姿で、また最も安全な環境でオリンピックを開かなければならないので 100%同調するが、今までの過程が 1 年間延長される状況は嬉しくは思えない。

ウイルス感染を防止するためにこの 5 週間、一切の外出・外泊せず忠清北道鎮川選手村で訓練に集中してきた太極戦士・娘たちは 4 年周期に合わせて過ごしてきたといっても過言ではない。現役オリンピックメダリスト A は「2016 年リオデジャネイロ大会は本当に残念だった。ただ東京だけ見て走ってきたが、心的な虚脱感がある」と打ち明けた。また、他の国家代表 B も「道しるべが突然失われた感じ」と残念がった。

歴代オリンピックで最も多くのメダルを獲得した「水泳伝説」マイケル・フェルプス（米国）も「選手たちの心は、（オリンピックの延期で）複雑である。いろいろな感情がぶつかることもある。精神的健康も取り戻す必要がある」と助言した。

事実、1 年というのは毎日毎日を生きる選手たちにとっても長い時間である。東京大会を最後に太極マーク返却を準備していた（訳注：引退を考えていた）選手も明らかです。名誉ある引退の計画が水泡に帰して、心をなかなか立て直せず、しばらくさまよう可能性もある。選手 C は「1 年はとても長い。しばらく体と頭を整理する機会が必要なため、今は旅行も行けない」と吐露した。

大韓体育会はオリンピックの延期による対策作りに総力を傾けている。IOC は 19 日、イ・ギフン会長をはじめとする各国国家オリンピック委員会（NOC）首長とビデオ会議で「オリンピックの出場権を獲得した選手たちは決して不利益を受けないだろう」と強調した。IOC は東京オリンピック予想出場人員 1 万 1000 人のうち、57%がクォータ（訳注：割り当て枠）を確保したものとみている。

残りの 43%はオリンピックの基準記録を通過するかどうかとランキングポイントに基づいて決まる。その種目が基準記録をどのように定めるか、世界ランキングをいつとるかに運命がかかるわけだが、状況に応じて主人公が変わる可能性がある。

それでも最小限の準備時間を確保した種目は幸いである。多くの種目がコロナ 19 の影響で各種の国際大

会が中止されたり、空の便が止まったりしてオリンピック出場枠獲得に困難を経験してきた。レスリングと重量挙げ、柔道、フェンシングの一部（男エフェソ団体）が予選延期で地団駄を踏んだ。オリンピックを念頭に置いてコンディションを調節した選手たちにとって出場希望が完全に消えることよりはマシだ。もちろんクォータは取ったがオリンピック代表を決定していない種目も一息ついた。

一旦、鎮川選手村はしばらく門を閉める。外部の出入りを制限することが困難な状況で、早ければ一定期間閉鎖される予定である。シン・チョン村長は「指導者と今後のトレーニングについて議論しなければならない。少なくとも2~3週は休憩が必要だろう」と述べた。しかし代替の訓練場所がふさわしくないので、リズムの調節とコンディション維持は、当分の間続く課題だ。

\*出典：<http://www.donga.com/news/article/all/20200325/100351260/5>

## 02 日刊スポーツ 2020.3.27

### 【 1997 年生まれ代表と 1998 年生まれの代表は「完全に他のチーム」である 】



オリンピックで年齢制限が適用される種目は唯一、男子サッカーだ。

1992 バルセロナ五輪から男子サッカーは 23 歳以下の選手だけ参加している。この制度はなぜ誕生したのか。国際サッカー連盟（FIFA）が力を誇示した結果だった。

FIFA は、自分たちが主催するワールドカップを世界最高

の大会に育てるために「ライバル」オリンピックと差別化を主導し、この過程の中で年齢制限制度ができた。サッカーに限って最高の選手と最高レベルの競技力はワールドカップでのみ可能にしたのである。国際オリンピック委員会（IOC）も FIFA の力の前に引き下がるしかなかったし、24 歳以上 3 人まで出場することができるワイルドカード制度を導入し、それでもプライドを保つことができた。

28 年前に始まった制度。オリンピックサッカーのパラダイムが変わった。オリンピック種目の中で唯一、年齢制限の限界の中に押し込まれ、オリンピックを準備する国が最高の 23 歳の選手を探すようになった。その 28 年の間に 23 歳の主軸代表チームがオリンピック予選を行い、オリンピック本選の舞台を踏んだ。簡単なプロセスではない。サッカー英才たちが溢れるほどいるヨーロッパと南米ではそれほど心配ないが、人的資源が不足しているアジアではいつも大きな悩みであった。韓国も例外ではない。

2020 東京オリンピックを準備しながらもそうだった。金ハクボム五輪代表監督は 2018 ジャカルタ・パレンバンアジア大会金メダルを獲得した後、オリンピックの準備のために、ゼロベースから再始動した。新しい顔、2020 年に 23 歳になる新しい人物を連れて新たに出発した。新しいスタートラインで金監督の悩みは大きかった。限られた資源の中でも、金監督は鷹の目で選手を発掘し、彼らをワンチームにした。これといったスター選手が一人もいない「谷間世代」という評価の中でも粘着性がある組織力と闘魂でオリンピック本選チケットを手にした。

去る 1 月にタイで開かれたアジアサッカー連盟（AFC）U-23 選手権で優勝した。韓国は世界で最初に 9 回連続オリンピック本選を確定した。金ハクボム号も当然 23 歳主軸である。優勝メンバーのうち、なんと 11 人が 1997 年生である。大会 MVP を獲得したウォン・ドゥジェ（蔚山現代）をはじめイ・ドンジュン（釜山アイパーク）イ・ドンギョン（蔚山）ソン・ボムグン（全北現代）などが該当する。金監督と彼らは 2020 東京オリンピックに合わせて準備されたチームである。

ところが、彼らが東京オリンピックに出られない危機に直面した。新型コロナウイルス感染症（コロナ 19）により、東京オリンピック 1 年延期が確定した。そうなれば彼らは 24 歳になり、規定上のワイルドカードでなければオリンピックに出ることができない。



そうあってはならない。

2020 年に合わせて 23 歳が主軸になった代表チームを作ることにしたのは FIFA だ。規定どおり着実に準備しただけだ。コロナ 19 余波によって、このような過程と努力を潰されてはならない。現在、東京オリンピックの出場権を確定した割合は 57%である。IOC は出場資格を来年まで認めると約束した。これを男子サッカーにも適用させなければならない。

1 年延期されたからと彼らを出場させないのは、むしろ公平性に反する。予選に参加し出場権を獲得した彼らが本選に出るのは当然の道理だ。予選と本選に全く他のチームが出場する事は草サッカーでも見ることができない。

1997 年生れが主軸であるチームと 1998 年生れが主軸であるチームは「全く別のチーム」である。

1997 年生れを排除したまま本当に公平性を問うなら、オリンピック予選は再び行わなければならない。

1997 年生れを主軸にしてオリンピック本選に上がったが、もし 1998 年生れの主軸に変わったとき、オリンピック本選を保証することができだろうか。1997 年生れが出場することができない場合、オリンピックは 1998 年に生れが主軸の大会になる。大会のアイデンティティが変わるだろう。それなら 1998 年生れが主軸のチームでもう一度予選を戦わなければならない。1997 年生れがつかみ取った大会を 1998 年生れが代わりに戦うのでは話にならない。

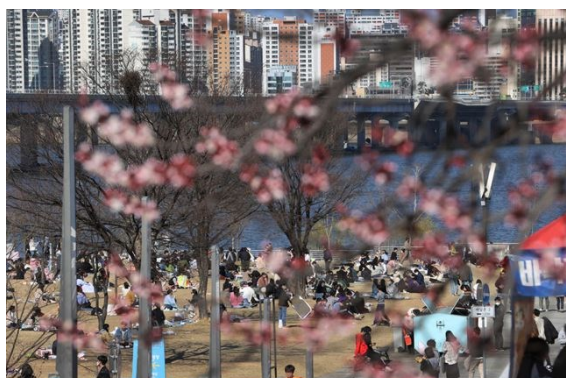
また、オリンピック予選という熾烈な競争を勝ち上がってきた彼らの努力と情熱をつぶしてはいけない。兵役免除に結び付ける問題ではない。1997 年生まれの選手たちは自分たちが努力で得た実を享受する資格は十分である。

1 年延期されたが 2021 ではなく 2020 東京オリンピックの名称を固守すること。この名分を守るためにも男子サッカー1997 年生れの出場を許可しなければならない。彼らは 2021 年ではなく 2020 年のオリンピックのために準備したチームである。FIFA と IOC が協議すれば良いことである。

\*出典：[http://m.isplus.joins.com/news/article/article.aspx?total\\_id=23740589#RedyAi](http://m.isplus.joins.com/news/article/article.aspx?total_id=23740589#RedyAi)

### 03 東亜日報 2020. 3. 20

#### 【 “宗教・体育・娯楽施設は半月休業”... 距離置き強度高めた政府 】



休日の 22 日午後、ソウル永登浦区汝矣島漢江市民公園を訪れた市民が桜の下で休んでいる。防疫当局は人間の十分な距離置きが可能な野外活動は大丈夫だとアドバイスしたが、野外活動であっても大勢が密接に集まる行事や公演、集会などは危険性が高いと強調してきた。

イ・ジョンア記者 leej@hani.co.kr

政府が宗教・体育・娯楽施設に運営停止を強く推奨し半月間の強度の高い「社会的距離置き」に手綱を締めた。感染者増加は安定的だが、首都圏ではコロナ19の「3次流行」が始まったらヨーロッパのように事態を収拾できないという判断からだ。

チョン・セギョン首相は22日、政府のソウル庁舎で開かれた中央災難安全対策本部（中対本）の会議で、「今日は半月間進行される高強度の“社会的距離置き”実践初日として、宗教・体育・娯楽施設に運営停止を強く勧告し、避けられない運営時に守るべき防疫指針を保健福祉部長官の行政命令として伝達した」とし「政府の防疫を妨害し共同体に危害を及ぼす行為にこれ以上は寛容でいることはできない」と述べた。前日鄭首相は、「社会的距離置き強化のための談話」を発表して集団感染の危険が大きい宗教施設と屋内体育施設（武道学園・体力鍛錬場など）、娯楽施設（コーラテック<訳注：コーラを飲みながら踊れる交遊場>・クラブ・カラオケなど）の運営を半月間（3月22日～4月5日）中断するよう強力に勧告した。また、地方自治団体ごとの状況に応じてインターネットカフェやカラオケ、塾なども追加できるようにした。中央省庁が感染症予防法に基づいて行政命令を下した最初の事例だ。

当該施設の事業主が仕方なく店を開く必要があるときは、防疫当局が提示した遵守事項に従わなければならない。有症状者（訳注：中国を含むコロナ19発生国を訪問した後、14日以内に肺炎が確認された人）立ち入り禁止、参加者1～2m距離維持、マスクの着用、出入者名簿の作成、施設各所に手消毒剤の設置など、施設ごとに提示された遵守事項を守らなければならない。これを守らない施設は行政命令を発動して集合禁止措置をすることになる。これに違反すると感染症予防法（300万ウォン以下の罰金）に基づいて処罰される。政府は感染者が発生した場合、入院・治療費と防疫費損害賠償（求償権）も請求する方針だ。防疫上の注意を守らない「高リスク店」とされた店を利用して感染した患者にも求償権請求を検討する。



22日、大田<sup>テジョン</sup>西区セロナム教会で信徒が礼拝をささげている。中央政府と地方自治団体は宗教施設の点検をこの日から開始した。

聯合ニュース

今回の指針は政府がこれまで市民の自発的参加を引き出す方法で進めてきた「社会的距離置き」にある程度強制性を付与したものと解釈される。一日の確定者数は100人前後に落ちた状況であるが市民がややもすると安心して距離置き疎かになり、首都圏で大邱・慶北大流行のような「3次流行」が広がると医療システムが耐えがたいと見ているからである。それで2週間の社会的距離置きの強度を高め、地域社会感染をいまの防疫システムが余裕あるレベルに低減し、これをもとに長期間流行に備えて状況・場所に応じた具体的な指針と法・財政支援などのシステムを整え、日常と経済活動が調和をなす「生活防疫」システムに転換するという方針だ。

政府は国民にも必ずしも必要としない集まり、イベント、旅行などを15日間延ばし、生活必需品購入、医療機関訪問、通勤以外の外出を控えるよう要請した。中央事故収拾本部側は「今回のガイドラインは事業者向けの警告ではあるが、これらの施設は店を開けても国民が行かないことが重要である」と述べた。公職社会が率先する趣旨で会議や報告を映像や書面で行い、国内外の出張を原則的に禁止するなどの「公務員服務管理特別指示」も施行される。ギ・モラン国立がんセンター教授（予防医学）は「遊興施設で出入者名簿の受け入れとか距離の維持などは守ること自体が難しいため、店を開けるのは容易ではないだろう」と、今

回のガイドラインの効果があると期待した。

しかしオム・ジュンシク嘉泉大学吉病院教授（感染内科）は「(実質的には同様の方法で) 社会的距離を置く強度を緩やかに続け、実効を収められない場合に閉鎖命令や移動制限のレベルの強力な方法があるべきものと思われる」と述べた。この日、政府は「公共交通機関への“最上位段階”防疫システムを稼動することにした」と発表した。肝心の内容は KTX など指定席がある公共交通機関で乗客間の座席をあけて割り当ててきた既存の方針と変わらなかった。

結局、実効を上げるには経済的支援策の内容がカギになると思われる。金ホンビン<sup>フンジン</sup>益唐ソウル大病院教授（感染内科）は「社会的距離置きに起因する小商工人の二次的被害は国で支援しなければならない」とし「どこまで苦痛分担をすることができるか、社会的合意が急がれる」と話した。政府は、行政命令対象に被害を受ける自営業者支援策を用意していると明らかにした。

\*出典：<http://www.hani.co.kr/arti/society/health/933672.html>

## 04 聯合ニュース TV 2020. 3. 24

### 【 防疫上の守則違反 宗教・スポーツ施設 454 ヶ所行政命令 】



政府がコロナ19防疫指針に違反した宗教施設や体育施設などの制裁措置を下しました。

中央災難安全対策本部（以下、中対本）は今日（24日）、「防疫指針に違反した施設 3,482 ヶ所に行政指導を実施し、違反行為が深刻なところ 454 ヶ所に行政命令を下した」と明らかにしました。

点検対象はコールセンター、カラオケ、ネットカフェ、スポーツ施設、クラブ業者、学院、宗教施設、老人ホームなどです。

行政命令を受けた 454 ヶ所のうち 442 ヶ所は宗教施設、12 件はスポーツ施設でした。

中対本はこれらが発熱チェックや 2m 以上の距離維持、防疫担当者の指定等安全上の注意を守らなかったと説明しました。

\*出典：<https://www.yonhapnewstv.co.kr/news/MYH20200324020000038>

## INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 1485-3 スンジョンビル 407号 代表：金商汎

체육시민연대 서울시 서초구 서초동 효령로 230 승정빌딩 407호 대표：김상범

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net

ホームページ：<http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com